

乾燥モズクで簡単スピードメニュー提案

沖友
友

みそ汁、あえ物、てんぷらに そのままちぎって使える

【那覇】みそ汁やあえ物
にちぎつてすぐに使える
乾燥モズクはいかが。



フコイダンたっぷりの
「乾燥もずく」

沖縄県産モズクの販売を手掛ける沖友（岡村邦康社長）では、フコイダンたっぷりの「乾燥もずく」の新しい食べ方を提案している。

乾燥モズクは料理の前段で水で戻すという手順を踏むのが一般的。水で戻した後に、酢の物、みそ汁の具、サラダ、てんぷらなどに使う。しかし、同社沖縄営業所の普天間

手毎朝のみそ汁に入れるたっぷりの「乾燥もずく」を適当な大きさにちぎつて毎朝のみそ汁に入れるだけでおいしいモズクみそ汁が出来上がる。歯応えもいいし、とても簡単にできるモズクのプラスワンメニュー」と説明する。

コンの簡単あえ」。作り

出来上がり。「もう1品

いう特徴がある。同社で

方は、乾燥モズクを食べやすい大きさにちぎり、ドレッシングをかけてなじませる。千切りにしたダイコンとツナ缶のツナ盛る。最後にネギかオニオングラムを乗せれば

同社の「乾燥もずく」は沖縄県漁連が製造元。原料はすべて生モズクを使うた

高年、とりわけ主婦層に支持されている。リビタ率が高い」と普天間さんは話す。

市販用の「乾燥もずく」は内容量10g。希望小売価格630円（消費税込み）。水で戻すと約20倍になる。



「乾燥モズク
の簡単あえ」

沖縄県漁連
が製造元。
原料はすべ
て生モズク
を使うた

め、塩漬け
原料を使つ
た他のモズ
ク加工品と

比べ、有効
成分のフコ
イダン含有
量が多いと

は通常の8倍というビッグサイズ(80g)の「乾燥もずく」を大手通販会社で販売展開しているが、食品部門では常にトップ水準の販売実績を記録しているという。「50～60歳の健康に関心の高い中高年、とりわけ主婦層に支持されている。リビタ率が高い」と普天間さんは話す。

市販用の「乾燥もずく」は内容量10g。希望小売価格630円（消費税込み）。水で戻すと約20倍になる。

▼（株）沖友沖縄営業所

沖縄県那覇市小禄699
の203、電098・8
57・3739